

YOKOSHIN NEWS

令和4年12月27日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

—2022年10～12月期実績、2023年1～3月期予想—

横浜信用金庫（理事長 大前 茂）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

全業種総合業況判断DIは前期より改善、来期は悪化する見込み

- 今期（2022年10～12月期）の全業種総合業況判断DIは、前期比8.5ポイント上昇の1.8と改善した。来期は、今期比0.9ポイント低下の0.9と悪化するもプラスの維持を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比10.6ポイント上昇の0.9となった。来期は、今期比0.5ポイント低下の0.4を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比2.9ポイント上昇の4.3となった。来期は、横ばいの4.3を見込んでいる。

【特別調査】「2023年（令和5年）の経営見通しについて」

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ・2023年の日本の景気見通し | やや悪い（47.7%） |
| ・2023年の自社の業況（景気） | 普通（51.0%） |
| ・2023年の貴社の売上額の伸び率 | 変わらない（47.9%） |
| ・自社の業況が上向く時期 | すでに上向いている（20.5%） |
| ・2023年の事業環境における経営リスク | 原材料・仕入価格のさらなる高騰（42.8%） |

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）679先 有効回答数：676先
調査方法：営業店職員による聞き取り調査 調査時期：令和4年12月上旬

※その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒[景気動向調査](#)」をご覧ください。

* 本件に関するお問い合わせ先 * 経営企画部：萩原、高橋 電話：045-680-6912



横浜信用金庫